

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-4 単身高齢生活保護受給者の 社会的つながりづくり事業

元予算額	12,881千円	2予算額	10,403千円
------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上	社会的つながりができたと感じる:38% 生活が改善したと感じる:46%

未達成

取組実績

- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する社会貢献プログラム等の提供(毎日)
- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する金銭・服薬管理等に関する支援(随時)



草刈りのボランティア活動 見守りを兼ねた健康相談

課題と改善策

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムの開催を制限せざるを得ない状況が続いたため、社会的つながりができた、生活が改善したとは感じにくい状況にあった。
- 新型コロナウイルスへの感染対策をとりつつ、徐々にプログラムの再開を進める。
- 利用を控えている方への声掛け(各戸訪問)を継続し、プログラム再開の周知、利用の再開を呼び掛ける。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり

元予算額	2,000千円	2予算額	2,000千円
------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上	95.9%

達成

取組実績

- 人権講座(2回)
インターネットで被害者にも加害者にもならないための4つのポイント/障がいのある人が自分らしく地域で暮らすために(1回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 西成区広報紙への人権コラム掲載(年4回)



人権講座

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

◇地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

区民や区のイベント参加者が「西成区の地域資源を活かした取組みが、にぎわい創出やまちの活性化につながっている」と感じる割合は高い。今後は新型コロナウイルス感染症拡大の中であっても実施可能な西成区のイメージを向上する事業の充実をはかり、地域人材の発掘や育成に取り組む必要がある。

◇地域活動の支援強化

地域活動協議会の自律的な運営に向けて、組織運営や会計処理などの基礎的な分野では全ての地域が自主的に行えるよう区の職員が直接支援を行い、成果をあげている。また、地域課題に応じた活動の実施についても客観的データ「地域カルテ」を活用した取組みが進められ、一部地域において課題解決に向けた新たな活動が実施されている。

また、もう一つの共通課題である自主財源の獲得に向けた取組みについては、地域活動協議会の活動内容等の情報発信強化に取組み、地域内企業等からの協賛金確保に向けた支援を継続している。

◇地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

新型コロナ感染拡大の中、身近なところで取り組まれてきた様々な活動が止まってしまう結果となった。

今後は、コロナ禍の状況を踏まえ、活動の再開にむけた支援等について対応策などを検討する必要がある。

◇人権尊重のまちづくり

人権に対する意識については、人権啓発推進の取組みを継続的に実施することで変わってきている。引き続き、多様な機会を通じて区民に対して広く人権啓発推進の取組みを進めていく必要がある。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-1 地域防災活動事業

—地区防災計画を活用した地域防災力の向上—

元予算額	5,617千円	2予算額	5,952千円
------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合	90%以上	78.9%

未達成

取組実績

地域防災訓練の実施：3地域

課題と改善策

- ・今年度は新型コロナ禍のため、十分な取組が実施できなかった。
新型コロナ禍を想定した避難所開設・運営訓練を実施していく必要がある。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながらも各地域の訓練を実施していく。



地区防災計画



津守地域防災訓練



今宮地域防災訓練



天下茶屋地域防災訓練

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-2 地域防災活動事業

—地域防災の担い手の発掘・育成—

元予算額	3-1-1に含む	2予算額	3-1-1に含む
目標		目標値	結果
講習会受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わっていこうと思う」と答える割合		90%以上	97%

達成

取組実績

- 地域防災リーダー、防災協力事業所合同での「防災アドバンス講習会」の開催(3回)
地域防災リーダー:14地域
防災協力事業所:27事業所
合計74名参加
- 区内中学校にて可搬式ポンプの使用方法について講習(2校)



防災アドバンス講習会



可搬式ポンプ講習

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-1 防犯対策事業

元予算額	2,545千円	2予算額	2,545千円
------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
街頭における犯罪発生件数を前年より減少させる	833件未満	705件(-15.4%)

達成

取組実績

- 防犯カメラ設置補助 6地域 8台
- 防犯ボランティア団体への支援 16団体
- 青色防犯パトロールカー及び自転車による巡回 随時
- 遠足等の随行警備(付添い 7回)
- 地域安全センターとの連携
- 防犯交通安全教室の実施(小学校 11回)
- 特殊詐欺被害防止キャンペーン及び地域の防犯協力店での防犯啓発特殊詐欺等被害防止啓発活動 14回
- ひったくり防止カバー取付 4回 640枚
- 落書き消去活動 随時



青色防犯パトロール巡回



ひったくり防止カバー取付



防犯交通安全教室



落書き消去活動 6

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

元予算額

4,670千円

2予算額

4,561千円

目標

目標値

結果

区民アンケート等により、交通ルールやマナーの意識が高まったと回答した区民の割合

70%以上

50.7%

未達成

取組実績

- 交通安全運動期間中の啓発活動(4月・9月)
- 迷惑駐車駐輪追放キャンペーン(10月)
- 区内主要駅への放置自転車啓発指導員の配置
- 放置自転車合同啓発活動(岸里駅5回、天下茶屋駅6回)
- 広報紙による自転車特集(2月号)



交通安全運動(春)
ハンドサイン運動



放置自転車合同啓発活動



迷惑駐車・駐輪追放キャンペーン



広報紙による自転車特集

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

課題と改善策

- 区民モニターアンケートにおいて、交通ルール・マナーに関する意識が高まっていると回答した人の割合が昨年度と比較して微増にとどまっており、区全体での意識向上の底上げが必要である。
- 区民全体の交通ルール・マナーの向上のためには、区民一人ひとりの意識の向上が必要であり、予定している啓発活動やイベント等を着実に実施するとともに、工夫を凝らしながら、より区民に見える形での取組を進める。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-3-1 空家等対策推進事業

元予算額

414千円

2予算額

414千円

目標

目標値

結果

特定空家等の解体や補修等による是正件数

10件以上

24件

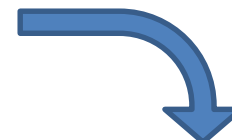
達成

取組実績

- 特定空家等の所有者調査及び是正に向けた助言、指導を実施
- 広報紙(6月号)及びホームページでの空家の適切な維持管理等に関する啓発を実施
- 空家の管理、活用に関するセミナーの開催(12月)
- 専門家による不動産相談を実施(毎月)



【是正前】



【是正後】



経営課題3 防災・防犯・安全対策

自己評価のまとめ (1)

◇コミュニティ防災力の強化

地域防災の新たな担い手の発掘にむけ地域防災リーダーと防災協力事業所合同での講習会を実施し、人材育成に加えて、地域と事業所の連携強化の取り組みも進めることができたと考える。一方、地域防災訓練や中学生への消火活動の講習は新型コロナ禍により実施件数が減少した。実施内容や規模など検討しつつ、防災意識・地域防災力のさらなる向上を図っていく必要がある。

◇防犯・安全対策の推進

街頭犯罪件数を減少させるためには、区民一人ひとりの防犯意識を高めることが重要であり、啓発活動を行うことで区民の防犯意識の向上に取り組んだ。街頭犯罪発生件数は平成26年から減少傾向で推移しており、令和2年については前年比15.4%減の705件となった。区の取り組みも一定の効果があったと考えている。交通ルールの遵守とマナーアップについては、コロナウイルス感染症の影響で、実施を取り止めた啓発活動やイベント等があった。今後は啓発活動やイベント等を実施するとともに、より区民に見える形での取組を進める必要がある。